

主人公として輝く

上田市立第四中学校 校長 宮澤 好一

新型コロナウイルスの感染拡大により例年と違った学校生活を余儀なくされています。

生徒が主体となって活動をしていく生徒会活動も、何かと制限がある中、第51回のセルリアン祭の準備が進められてきました。

本年度のセルリアン祭のテーマは「雲外蒼天」です。生徒一人一人の挑戦するパワーが、今の自分たちを取り巻く困難とも言える状況乗り越えることで、四中に大いなる蒼天が広がることを目指す壮大なテーマです。

本年度、四中では「四中プライド～主人公として生きる～」をスローガンに掲げています。その場その時の状況を主体的に判断しながら行動していくことを大事の考えています。

このセルリアン祭は、皆さん一人一人の学校生活の集合体です。一人一人が主人公として、さまざまな場面で輝く姿を期待しています。

節目を終えて

文化委員長 熊谷 槍一

今年のセルリアン祭は51回目です。50回という節目を終え、ここから新たに始まる年だと思えます。今まで続いてきたこのセルリアン祭を、今年も受け継いでいきたいと思えます。

さて、今年のテーマ、「雲外蒼天～Power of Smile～」は全校生徒の投票で決まりました。このテーマには、「様々な困難な状況でも、笑顔を絶やさず努力すれば良いことがある。」という意味が込められています。セルリアン祭では、体育祭や合唱コンクールなどがあり、クラス、学年、全校で力を合わせなくてはなりません。最初は失敗をするかもしれませんが皆で協力し合えば、きっと成功するでしょう。

皆さんが笑顔になるセルリアン祭を作るということを考えて活動してきました。展示や発表、どれも四中らしいものになっています。皆さん楽しんでください。そして、第51回セルリアン祭を笑顔あふれる最高のものを創り上げましょう。

乗り越えて

生徒会長 太田 淳之祐

今年も、四中で最大の行事であるセルリアン祭がやってきました。セルリアン祭は、今年で51回目の開催で、今までの四中の歴史が深く刻まれています。こんな状況であるからこそ、セルリアン祭が開催することに感謝しながら、皆さんに楽しんでほしいと思えます。

今年のセルリアン祭のテーマ「雲外蒼天～Power of Smile～」の雲外蒼天は、困難を努力して乗り越えれば、快い青空が望めるという意味があり、新型コロナウイルスであらゆることに影響が出ている今、それを乗り越えるために相応しいテーマだと思えます。皆さんには、他にもいろいろな困難や試練があり、それを乗り越えて、次のステップに進んでいって欲しいです。

全校で一丸となり、笑顔になれるようなすばらしいセルリアン祭を創り上げましょう。

第五十一回セルリアン祭テーマソング

「インフェルノ」 作詞・作曲・編曲 大森元貴

照らすは闇 僕らは歩き慣れた日々も淘汰
夢は安泰な暮らしだが 刺激不足故にタラタラ

照らすは熄み 僕らの歩き慣れていた道はどこだ
時にはたまに癩だが 温もりに包まれ只

炎が立つ 導の方へ

思い出すは優しいメモディー

永遠は無いんだと 無いんだと云フ

それもまたイイねと笑ってみる

輝けばいつかは光も絶える

僕らは命の火が消えるその日まで歩いてゆく

ところで何故 僕らは思考を急に辞めているんだ
夢は安泰な暮らしだが 知識不足故にハラハラ

食せば Yummy

ヨスガに縋り付いたまま朽ちて行くんだ

ここは業火の中だが 傷跡がヒリつき只

水面が立つ 光の方へ

手を取るは新しいメモリー

夜空が分かつ 導の方へ

遮るは堅苦しいセオリー

永遠は無いんだと 無いんだと云フ

やっぱ苦しいねと泣いてみる

風船もいつかは萎むか割れる

僕らは命の泉を護り続けて繋いでゆく

学びきれずに卒業 伝えきれずに失恋

遊びきれずに決別 面倒臭いが地獄じゃあるまいし

音が出る玩具も 痛みを飛ばす魔法も

全部僕にとつての宝物

永遠は無いんだと 無いんだと云フ

僕らは命の火が消えるその日まで歩いてゆく

僕らは命の火が消えるその日まで歩いてゆく